

市制施行70周年を迎える相模原市

相模原市は、昭和29年の市制施行から今年で70周年を迎えます。

東京近郊にありながら「都市と自然のベストミックス」の魅力が輝くまちです。市内各所において、大規模なまちづくりが進み、橋本駅周辺には神奈川県内で唯一のリニア中央新幹線駅の設置が予定されるなど、首都圏南西部の広域交流拠点として更なる発展が見込まれている一方、神奈川県民の水がめとして欠かせない5つの湖や清流を育む豊かな森林が広がるなど、自然にも恵まれたまちです。総務省が発表した令和5年の住民基本台帳人口移動報告では転入超過数が全国第11位と3年連続で上位にランクインし、多くの方に選ばれるまちとなっています。

市内には多数の大学や研究機関が所在しているほか、さがみロボット産業特区に指定され、ロボット関連等の企業が集積している「ロボットのまち」でもあります。

また、まちに対する市民の誇りや愛着、共感を持ち、自ら関わっていきこうという気持ちを示す「シビックプライド(CP)」を全国で初めて条例名に掲げ、同市と関わりのあるすべての方々と連携して市への愛着醸成や地域活性化を進めています。

さらに、市制施行70周年を祝福する機運を高め、市の魅力を全国にプロモーションするため、市制施行70周年記念事業として200以上の事業を実施する予定です。

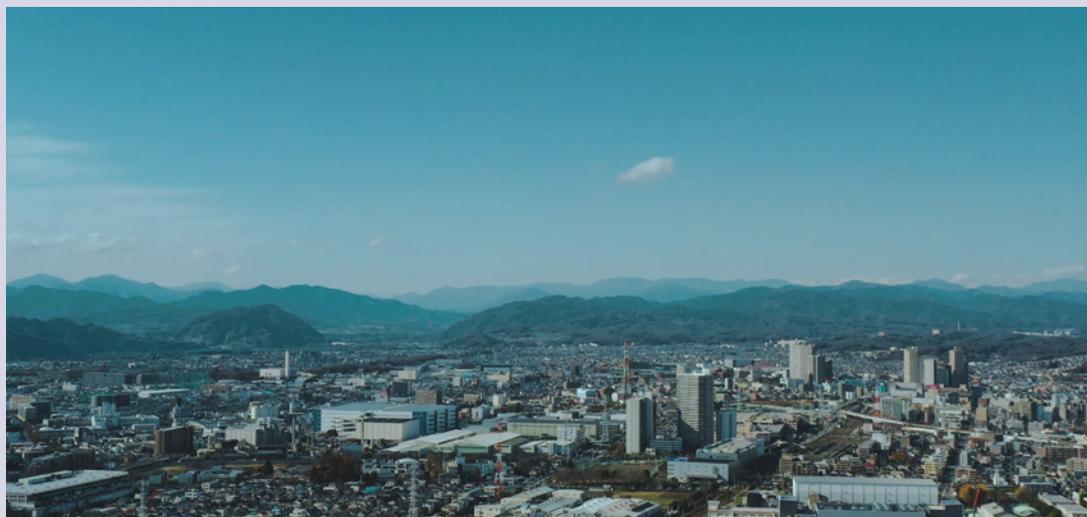
記念事業では、本年2月に決定した市制施行70周年記念ロゴマークを活用し、統一感をもって取り組まれています。

市制記念日である11月20日には、相模原市市制施行70周年記念式典を実施する予定で、同市にゆかりのある著名人の登壇や、相模原の未来について語り合うパネルディスカッションが計画されています。

相模原市は、市制施行70周年の節目を迎えますが、これからも市民の方々から「子育てするなら相模原」「教育を受けるなら相模原」「第二、第三の人生を楽しむなら相模原」と言っていただき、多くの人や企業に選ばれ将来にわたって持続的に発展を続ける「幸せ色あふれるまち」の実現を目指しています。



市制施行70周年記念ロゴマーク



相模原のまちなみ